

採択理由

プログラム名： 気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた
社会システムの改革プログラム
課題名： 森と人が共生するSMART工場モデル実証
中核機関名： 岡山県

コメント

本提案は、間伐材を活用し、付加価値の高い工業用材料の開発やエネルギーへの転換を促し、CO₂の吸収源としての森林の利活用を推進するものであり、開発すべき技術と、それが地域にもたらす利益を実証できるなど具体的であり、高く評価できる。自然エネルギー複合利用を県が主導して関係機関と連携して技術開発することを目指し、持続可能な森林管理や地方産業育成により、新たな雇用創出に資する提案である。実施に際しては、採算性も考慮した実証可能な自然エネルギー利用技術や間伐材活用技術を選定し、ナノファイバーの開発の経済性の視点とその活用方法についての具体策を明確にすることが前提であり、本研究期間内での開発は、課題のプライオリティをつけて行うことを期待する。

【採択条件】

ナノバイオフィバーの製造に関する研究開発に関しては、予め十分なLCA（ライフサイクルアセスメント）を実施し、適切な見通しが得られるまでは事業計画に含めないものとする。